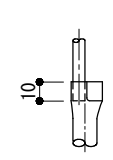
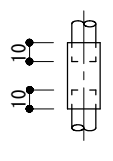


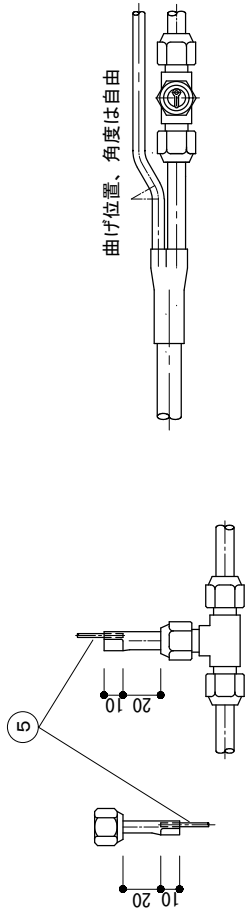
着色部分は保温仕上
気密試験以降に行う。



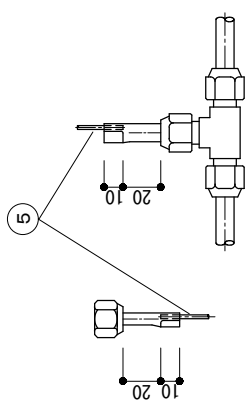
A部詳細
細い銅管を太い銅管の内径まで拡管し、ろう付けする。



B部詳細
太い銅管が細い配管を包み込むように加工し、ろう付けする。

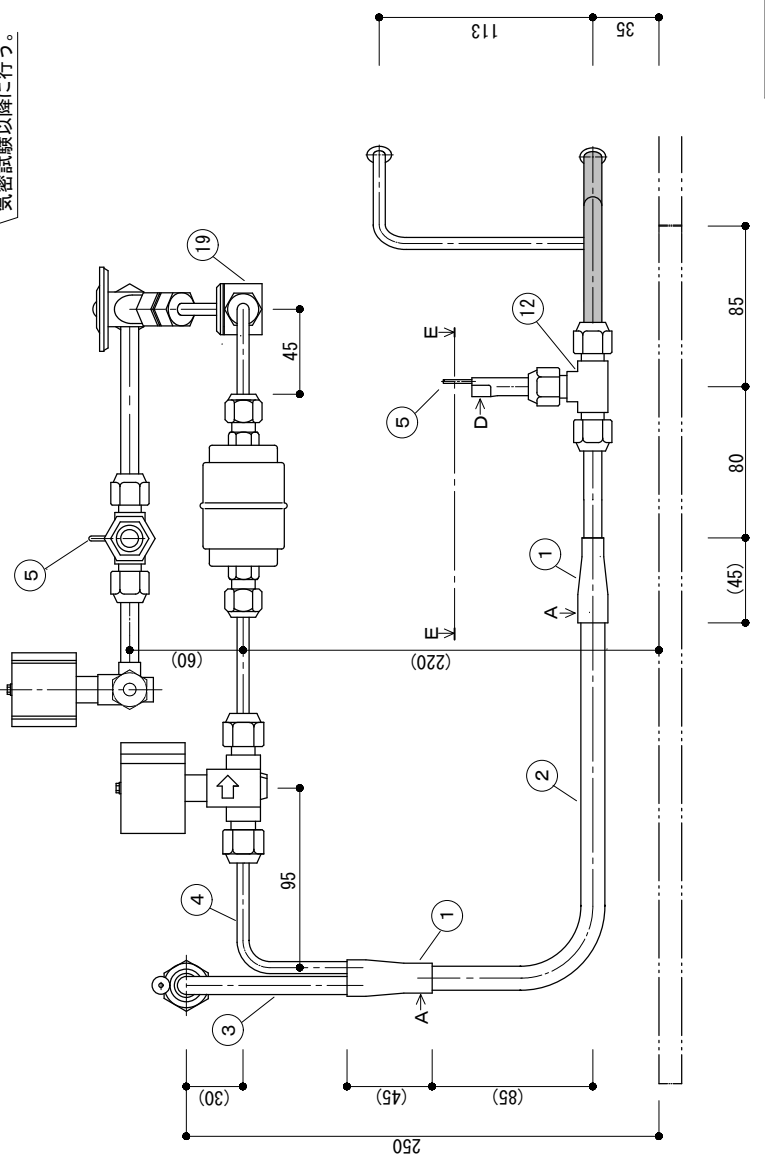


C部詳細
曲げ位置、角度は自由



D部詳細
低圧圧力開閉器への配管取出し方法

• 連絡配管は、キャピラリーチューブを使用する。
• キャピラリーチューブ重なり深さ 10mm
• 連絡配管にはルーブ (Φ26) を設ける。(経路の指定なし)

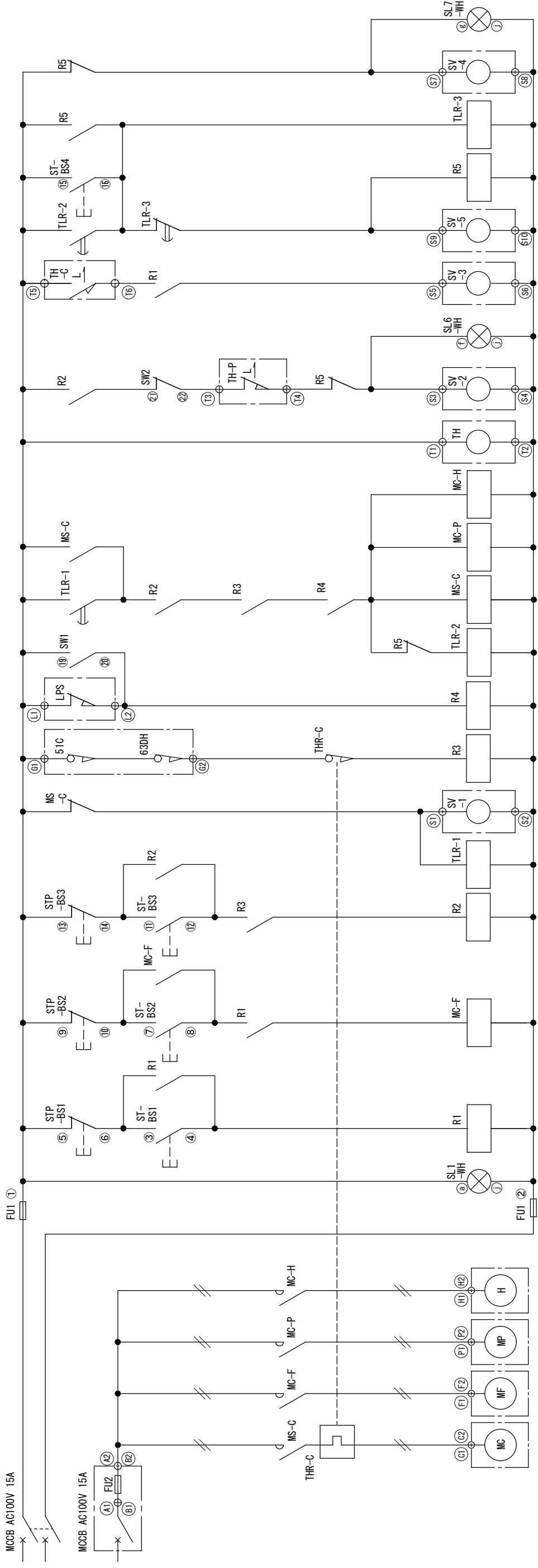


F部説明

- 温度自動膨張弁の感温筒を、図の位置に結束バンド (ケーブルタイ) 2個で固定する。
- 電子サーモALE-S012-010標準付属品センサTEX-83H608を、図の位置に結束バンド (ケーブルタイ) 1個で固定する。
- ()の付いた寸法は参考表示である。
- 実際には、競技当日に指示される寸法で加工すること。
- ※部分は寸法指定なし

■ 課題 I 配線基本課題

下の回路図のとおり配線し、冷凍機が正常に運転することを確認しなさい（保護装置の動作確認含む。）。



注意事項 1 ○付き数字及び○付きアルファベット小文字は端子台Aの端子番号を、それ以外の○付き文字は端子台B及び端子台Cの端子番号を示す。
 2 ----- で囲まれた部分は外部配線を示す。 3 ----- で囲まれた部分の配線は、加工済みのものを持参する。

凡例

51C	モータプロテクタ	MC-F	電磁接触器(送風機)	SL1.6.7-WH	表示灯1、6、7(乳白)	SV-3	電磁弁(コイル蒸発器用)	TLR-3	タイマ(デフロスト運転 1分) ※5
63DH	圧力開閉器(高圧) ※1	MC-H	電磁接触器(電気ヒータ)	ST-BS1	押ボタンスイッチ	SV-4	電磁弁(デフロスト用)	TH	電子サーモ
FU1	ガラス管ヒューズ(0.5A)	MC-P	電磁接触器(循環ポンプ)	ST-BS2	押ボタンスイッチ(送風機)	SV-5	電磁弁(ホットガス用)	TH-C	電子サーモ(コイル蒸発器用) 出力1 ※3
FU2	ガラス管ヒューズ(30A・付属)	MF	電動機(送風機)	ST-BS3	押ボタンスイッチ(圧縮機)	SW1	スイッチ(ポンプダウン継続用)	TH-P	電子サーモ(ポンプダウン開始用) 出力2 ※4
H	電気ヒータ	MS-C	電磁開閉器(圧縮機)	ST-BS4	押ボタンスイッチ(手動デフロスト)	SW2	スイッチ(強制ポンプダウン用)	THR-C	過電流継電器(圧縮機)
LPS	低圧力開閉器 ※2	MP	電動機(循環ポンプ)	SV-1	電磁弁(コイル蒸発器用)	TLR-1	タイマ(圧縮機起動防止 3分) ※5		
MC	電動機(圧縮機)	R1~R5	補助リレー	SV-2	電磁弁(ポンプダウン用)	TLR-2	タイマ(着霜運転 15分) ※5		

※1 圧力上昇により接点閉 (OFF)。共通端子をFU1側母線に接続 ※3 -10°C接点閉 (ON)、-8°C接点開 (OFF) : 出力1 ※4 -12°C接点閉 (OFF)、-8°C接点閉 (ON) : 出力2
 ※5 制御回路の動作確認に当たり、主回路のMCCBを開とし、TLRの設定時間を短くして実施することも可とする。